



## 2020年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月19日

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4996 URL <http://www.kumiai-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池好智  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務人事部長 (氏名) 吉村 巧 (TEL) 03-3822-5036  
 四半期報告書提出予定日 2020年6月19日 配当支払開始予定日 2020年7月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2020年10月期第2四半期の連結業績(2019年11月1日～2020年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第2四半期	58,383	△0.1	4,971	△11.3	5,473	△15.5	3,805	△18.4
2019年10月期第2四半期	58,471	7.9	5,607	17.0	6,479	15.6	4,663	4.7

(注) 包括利益 2020年10月期第2四半期 3,329百万円( 11.3%) 2019年10月期第2四半期 2,992百万円( 83.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第2四半期	30.42	—
2019年10月期第2四半期	37.22	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第2四半期	159,800	101,496	60.2
2019年10月期	142,660	99,260	65.9

(参考) 自己資本 2020年10月期第2四半期 96,142百万円 2019年10月期 93,977百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	3.00	—	8.00	11.00
2020年10月期	—	4.00			
2020年10月期(予想)			—	7.00	11.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	9.3	8,000	4.7	9,800	0.7	6,800	0.2	54.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年10月期 2 Q	133,184,612株	2019年10月期	133,184,612株
② 期末自己株式数	2020年10月期 2 Q	8,134,990株	2019年10月期	7,934,971株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年10月期 2 Q	125,083,173株	2019年10月期 2 Q	125,259,214株

(注)2019年12月13日開催の取締役会決議に基づき、子会社が所有する当社普通株式を取得したこと等により、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が200,019株増加しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年7月16日(木)に、機関投資家・証券アナリスト向けのオンライン決算説明会を実施する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行（パンデミック）による世界経済への影響が深刻化しており、感染拡大が収束する時期も判然としておらず、先行き不透明な状況が続いております。

また、わが国経済においても、新型コロナウイルス感染症拡大により大きく影響を受け、今後も厳しい状況が続くとみられています。

このような情勢の下、当社は本年が最終年度にあたる中期経営計画「Create the Future」の仕上げに向けて、各事業における課題の達成に取り組んでおります。

売上高は、畑作用除草剤「アクシーブ剤」の販売が堅調に推移し、水稲用除草剤「エフィーダ剤」の販売が好調に推移したものの、一部化成品の販売が減少したことにより、58,383百万円、前年同期比88百万円(0.1%)の減少となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したことにより、4,971百万円、前年同期比636百万円(11.3%)の減少となりました。経常利益は、為替差損が増加したことにより、5,473百万円、前年同期比1,006百万円(15.5%)の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,805百万円、前年同期比857百万円(18.4%)の減少となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における海外向け売上高の割合は36.2%となりました。

セグメントの概況につきましては以下のとおりです。

セグメント	2019年10月期 第2四半期			2020年10月期 第2四半期			前年同期比	
	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高 (増減率 %)	営業利益 (増減率 %)
農薬及び 農業関連事業	百万円 44,088	% 75.4	百万円 5,122	百万円 44,285	% 75.9	百万円 4,985	百万円 197 (0.4)	百万円 △138 (△2.7)
化成品事業	10,180	17.4	690	9,726	16.7	226	△454 (△4.5)	△464 (△67.3)
その他	4,204	7.2	426	4,373	7.5	449	169 (4.0)	24 (5.5)
計	58,471	100.0	5,607	58,383	100.0	4,971	△88 (△0.1)	△636 (△11.3)

(注) 1. 前第2四半期連結累計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)632百万円が含まれております。

2. 当第2四半期連結累計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)689百万円が含まれております。

## ① 農薬及び農業関連事業

国内販売部門は、水稲用除草剤「エフィーダ剤」が当連結会計年度に大きく伸張した結果、前年同期を上回りました。

特販部門は、自社開発原体の販売において「エフィーダ」の販売が好調であったことと、前連結会計年度譲受した「ベンスルフロンメチル」の売上が新たに加わったことにより、前年同期を上回りました。

海外販売部門は、畑作用除草剤「アクシーブ剤」が堅調に推移したものの、欧州での殺菌剤、植物成長調整剤の在庫調整による出荷減があったことから、前年同期を下回りました。

以上の結果、農薬及び農業関連事業の売上高は44,285百万円、前年同期比197百万円(0.4%)の増加となりました。営業利益は4,985百万円、前年同期比138百万円(2.7%)の減少となりました。

## ② 化成品事業

塩素化事業は、アラミド繊維や高機能樹脂などの原料向けクロロキシレン系化学品が、新型コロナウイルス感染症拡大で自動車関連産業の工場稼働が一時停止となった影響を受け販売減となりました。

精密化学品事業は、電子材料や高耐熱樹脂原料向けビスマレイミド類は好調に推移したものの、防水剤向けウレタン硬化剤が減少しました。

産業用薬品事業は、製紙向け薬剤や水処理剤等の受注が好調に推移しました。

発泡スチロール事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が減少し、低調な販売状況となりました。

以上の結果、化成品事業の売上高は9,726百万円、前年同期比454百万円(4.5%)の減少となりました。営業利益は226百万円、前年同期比464百万円(67.3%)の減少となりました。

## ③ その他

その他の主な事業内容は、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等であります。

賃貸事業では、引き続き保有資産の有効活用に努め、売上、営業利益ともに前年同期並みとなりました。発電及び売電事業では、売上、営業利益ともに前年同期並みに推移しました。建設業では、前連結会計年度からの繰越工事の増加により売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。印刷事業及び物流事業では、需要増等により売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、その他全体の売上高は4,373百万円、前年同期比169百万円(4.0%)の増加となりました。営業利益は449百万円、前年同期比24百万円(5.5%)の増加となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は159,800百万円で、前連結会計年度末に比べ17,141百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金、仕掛品の増加が、商品及び製品の減少を上回ったこと等によるものです。

負債は58,304百万円で、前連結会計年度末に比べ14,904百万円の増加となりました。これは主に短期借入金、支払手形及び買掛金の増加が、未払金及び未払法人税等の減少を上回ったこと等によるものです。

純資産は101,496百万円、自己資本比率は60.2%、1株当たり純資産は768円83銭となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の連結業績予想は、2019年10月期の決算発表時(2019年12月13日)の業績予想から変更はありません。

現状、新型コロナウイルス感染症の影響は、2020年後半には収束し、2021年には経済状況は改善に向かうと仮定しております。

当社の連結業績予想に対する新型コロナウイルス感染症に関連する影響は軽微と考えており、今後公表すべき事実が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,354	16,173
受取手形及び売掛金	26,623	42,939
有価証券	30	—
商品及び製品	23,040	21,188
仕掛品	9,032	11,400
原材料及び貯蔵品	6,147	5,871
その他	1,840	804
貸倒引当金	△63	△67
流動資産合計	82,003	98,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,394	10,121
機械装置及び運搬具(純額)	7,291	7,219
土地	12,103	12,101
建設仮勘定	727	1,626
その他(純額)	1,446	1,564
有形固定資産合計	31,961	32,632
無形固定資産		
のれん	4,268	3,998
その他	1,043	1,140
無形固定資産合計	5,310	5,138
投資その他の資産		
投資有価証券	20,783	20,877
長期貸付金	11	310
繰延税金資産	797	870
退職給付に係る資産	156	102
その他	1,772	1,695
貸倒引当金	△133	△131
投資その他の資産合計	23,385	23,723
固定資産合計	60,657	61,493
資産合計	142,660	159,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,175	14,955
短期借入金	12,747	29,109
未払金	4,271	2,795
未払法人税等	3,129	1,277
賞与引当金	1,463	1,268
その他	796	865
流動負債合計	35,581	50,269
固定負債		
長期借入金	311	206
繰延税金負債	2,168	2,464
役員退職慰労引当金	618	585
退職給付に係る負債	4,263	4,252
資産除去債務	39	40
その他	419	488
固定負債合計	7,818	8,035
負債合計	43,400	58,304
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	37,137	37,081
利益剰余金	60,196	63,001
自己株式	△5,268	△5,372
株主資本合計	96,600	99,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	833	788
為替換算調整勘定	△3,339	△3,787
退職給付に係る調整累計額	△117	△104
その他の包括利益累計額合計	△2,623	△3,103
非支配株主持分	5,283	5,354
純資産合計	99,260	101,496
負債純資産合計	142,660	159,800



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)
売上高	58,471	58,383
売上原価	43,694	43,665
売上総利益	14,777	14,719
販売費及び一般管理費	9,171	9,747
営業利益	5,607	4,971
営業外収益		
受取利息	27	12
受取配当金	100	92
持分法による投資利益	716	771
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	90	101
営業外収益合計	935	975
営業外費用		
支払利息	13	47
売上割引	26	1
為替差損	10	418
その他	13	8
営業外費用合計	63	474
経常利益	6,479	5,473
特別利益		
固定資産処分益	144	23
投資有価証券売却益	—	4
受取保険金	83	8
特別利益合計	227	35
特別損失		
固定資産処分損	27	79
投資有価証券評価損	—	1
ゴルフ会員権評価損	0	0
支払補償費	23	24
災害による損失	45	4
事務所移転費用	10	—
特別損失合計	105	108
税金等調整前四半期純利益	6,601	5,400
法人税等	1,750	1,571
四半期純利益	4,851	3,829
非支配株主に帰属する四半期純利益	188	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,663	3,805

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	4,851	3,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	△49
為替換算調整勘定	△1	△256
退職給付に係る調整額	14	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,827	△208
その他の包括利益合計	△1,859	△500
四半期包括利益	2,992	3,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,794	3,326
非支配株主に係る四半期包括利益	197	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## (セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	44,088	10,180	54,267	4,204	58,471	—	58,471
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16	16	1,572	1,588	△1,588	—
計	44,088	10,195	54,283	5,776	60,059	△1,588	58,471
セグメント利益	5,122	690	5,813	426	6,238	△632	5,607

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△632百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	44,285	9,726	54,011	4,373	58,383	—	58,383
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	22	22	1,979	2,001	△2,001	—
計	44,285	9,748	54,032	6,352	60,384	△2,001	58,383
セグメント利益	4,985	226	5,210	449	5,660	△689	4,971

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△689百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。